

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊 芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部
 本社：千葉県茂原市渋谷1016-12
 メール：agree@green.ocn.jp
 agree-sys@excite.co.jp
 HP：http://weeklyart.seesaa.net/auth/article_preview/

おもしろ体験博物館 江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418
 開館時間：10：00～17：00
 休館日：月曜日
 問い合わせ：0465-81-5339

よみがえれ！ シーボルトの日本博物館

国立歴史民俗博物館

江戸時代後期に医師として来日したシーボルトの没後150年を記念して、シーボルトが母国に残したコレクションを里帰りさせ、ヨーロッパで紹介したかった日本の姿に迫る貴重な展示になる。

西洋で見せたかった日本の姿

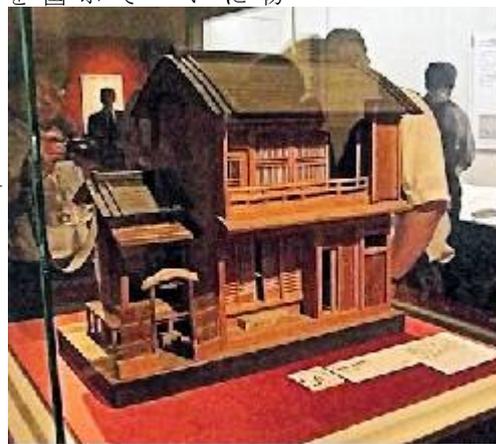
ドイツ人の医師・博物学者で、19世紀に二度にわたりに来日したフリードリッヒ・フランク・フォン・シーボルトは、日本の自然や生活文化に関する膨大な資料を集め、ヨーロッパに持ち帰った。

帰国後には、『日本NIPPON』を初めとする著書の刊行のみならず、コレクシオンによる博物館展示をおこない、大好きな日本を紹介している。



た日本博物館の実態に迫っている。

なかでも、シーボルトは、国禁の地図を幕府天文方の高橋景保から手に入れたが、それが帰国直前に発覚し、幕府に地図をされてしまういわゆる「シーボルト事件」はあまりに有名。本展調査のおり、シーボルトの子孫の家で「カナ書き伊能特別小図」の写しが発見され、シーボ



鳴滝の家屋模型

ルトの国禁地図であることが証明された。

初来日した「鳴滝の家」の模型」や、シーボルトが終焉の地ミュンヘンに残したコレクションを通し、シーボルトの日本博物館が150年ぶりによみがえった。

◆7月12日(火)～9月4日(日)

国立歴史民俗博物館 企画展示室A・B (千葉県佐倉市内町117) TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般830円 高校・大学生450円 小・中学生は入館料無料 休刊日：7月19日、8月1・8・22・29日

次号は
7月28日発行

熱海湾を一望でき、眺望ナンバードワンの美術館

MOA美術館 (静岡県熱海市桃山町26) 電話0557-(84)2511

一般1600円、高大生800円、中学生以下無料、65歳以上1200円木曜日休(祝日は開館)

JR熱海駅下車/バス4番のりばMOA美術館行8分

版画でみる20世紀展 ピカソからウォーホルまで 開催中!

諸橋近代美術館 (福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093番23) 一般・大学生950円、高校生500円、小・中学生200円生*毎週土曜日、小・中学生は無料 電話0241(37)1088

隅々まで神経が届いた構力

芹沢銈介は、デザインの領域に豊かな足跡を残したが、中でもよく知られたものに本の装幀、ブック・デザインがある。昭和6(1931)年、36歳の時に雑誌「工藝」の装幀を手掛けたのを皮切りに、最晩年まで途切れることなく、様々な本を500冊以上デザインした。そのジャンルは、小説、随筆集、全集・選集など様々。川端康成や山本

周五郎といった著名作家のものや、柳宗悦や外村吉之介といった民芸同人のものまで、多数の著作を手掛けた。

本体やカバーだけでなく、箱や扉、カットに至るまで芹沢の手になるものが多い。隅々まで神経の行き届いた構力、様々な書体、豊かな模様や配色が魅力だった。

本展ではその中から約200冊を厳選し、芹沢のあふれるほどのデザイン力を堪能できる。また、芹沢の

着物、屏風、のれんなどの代表作40点を前半部分に展示してある。

◆ 7月16日 (土) ~ 11月27日 (日)

静岡市立芹沢銈介美術館 (静岡県静岡市駿河区登呂5丁目10-5) TEL 0544-282-5522 一般420円 高校生・大学生250円 小学生・中学生100円 休館日: 毎週月曜日(7/18、9/19、10/10を除く)、7/19、9/20、9/23、10/11、11/4、11/24

書物のよそおい

芹沢銈介のブック・デザイン



杉山明博 造形の世界

佐野美術館創立50周年・三島市制75周年記念 アートでZOO・あかりの造形・日本人のこころとかたち



鳥や動物など親しみやすいかたちの中にも、あつと驚くような仕掛けがたくさんあり、次々展開される杉山ワールドに大人も子どもも引き込まれていく新感覚となるでしょう。

デザインの発想や創造性に

触れると優しく温かく、時に強靱であり、また柔らかくもある、多彩な表情をもつ「木」。たくさんある木の中からそれぞれの特色を読み取り、様々な造形を試みる作家、杉山明博の世界を紹介する。

長く学びと創造の研究に携わってきた杉山は、実際に手でかたちに触れて造ることの中から形成される、デザインの発想や創造性により作品を造り続けてきた。その中には、日常慣れ親しんだ「あかり」の造形や、日本美をあらわした「つなぎ」「くずし」といった

◆ 8月13日 (土) ~ 9月22日 (木)

佐野美術館 (静岡県三島市中田町1-43) TEL 054-975-7278 一般・大学生1000円 小・中・高校生500円 8月21日(日)は1割引(県民の日) 木曜日休館(祝日の場合は開館)

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んだでの展示

国立歴史民俗博物館 (千葉県佐倉市城内町117) 電話03(5777)8600 ハロイダイヤル 一般420円、高校・大学生250円、中学生以下は無料 月曜日休館

着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本等多岐にわたる

■静岡市立芹沢銈介美術館 (静岡市駿河区登呂5の10の5) 電話054(282)522 一般410円 高大生250円、月曜日休館

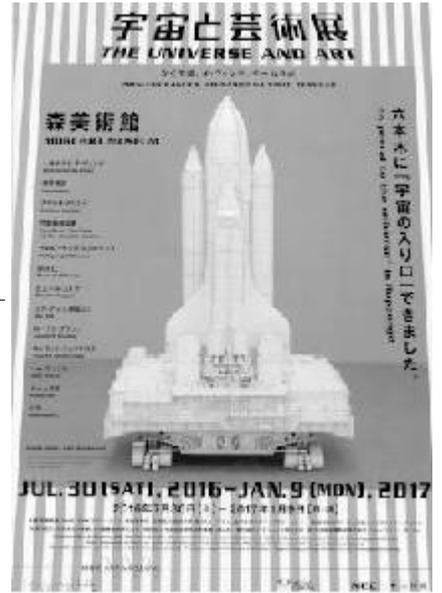
庭園ゾーン、書院ゾーン、体験ゾーン、展示ゾーン

■北九州市立小倉城庭園 (北九州市小倉北区城内1の2) 電話093(582)2747 会期中無休

宇宙と芸術展

かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ

森美術館



六本木から 宇宙への旅

宇宙は古来、人間にとつて最大の関心事であり、また信仰と研究の対象として、世界各地の芸術の中で表現され、多くの物語を生み出してきた。

本展では、隕石や化石から、レオナルド・ダ・ヴィンチやガリレオ・ガリレイの天文学手稿、貴重な天文・科学の初版本、曼荼羅や日本最古のSF小説ともいえる「竹取物語」の絵巻、そして現代アーティストによるインスタレーションや宇宙開発の最新線に至るまで、古今東西ジャンルを超えた多様な出展物約200点を一挙公開。

「人は宇宙をどう見てきたか?」、「宇宙という時空間」、「新しい生命観 宇宙人はいえるのか?」、「宇

宙旅行と人間の未来」の4つのセクションを通して、未来に向かっての新たな宇宙観、人間観を提示することを試みる。

初公開の原画展

ビアトリクス・ポターは1886年7月、ロンドンで生まれた。幼少期から動物や植物のスケッチが大好きだったビアトリクスは、避暑地として家族と訪れた湖水地方の豊かな自然に出会い、生涯魅了され続けた。彼女の自然への深い愛情とまなざしは

ピーターラビットシリーズの世界観に色濃く反映されている。ビアトリクスは絵

ピアトリクス・ポター”生誕150周年”

ピーターラビット展



◆ 7月30日 (土) ~ 2017年1月9日 (月・祝)
森美術館 (東京都港区六本木6-10-1) 11:00-3:00

5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 学生(高校・大学生)1100円 子供(4歳~中学生)600円 会期中無休 10:00~22:00

◆ 8月9日 (火) ~ 10月11日 (火)
Bunkamura ザ・ミュージアム(東京都渋谷区道玄坂2-24-1) 11:00-5:00 (ハローダイヤル) 一般1400円 大学・高校生900円 中学・小学生600円 親子券1500円 会期中無休

鴻池朋子展

本作家として得た収入をもとに念願だった湖水地方に移り住み、自然保護活動の先駆者、農場経営者としても活躍した。本展は、英国ナショナル・トラストが所蔵する貴重な絵本の自筆原画やスケッチ、彼女の愛用品など200件以上の作品・資料が出品され、そのほとんどが日本初公開となる。

昨秋、神奈川県民ホールギャラリーにて、鴻池朋子の6年ぶりの個展となる「根源的暴力」が開催され、話題を呼んだ。

根源的暴力

群馬県立美術館

スタレーションに挑む姿を展観できる。地球の振動を感じた鴻池が「もはやおなじみではないられない」と語るように、展覧会はその地の感触をとりこみながら変身し、成長して観客の前に登場。

メモ

7月9日(土) ~ 8月28日(日)

群馬県立近代美術館(群馬県高崎市綿貫町99-2)

1 群馬の森公園内) 11:00-5:00

027 346 5560

一般610円 高大生300円 中学生以下は無料

月曜日、7/19休館(ただし、7/18、8/15は開

館)

本展では、さらに加筆され生々しく変容を続ける《皮綴帳》を始め、新作を交えて、全く新たなイン

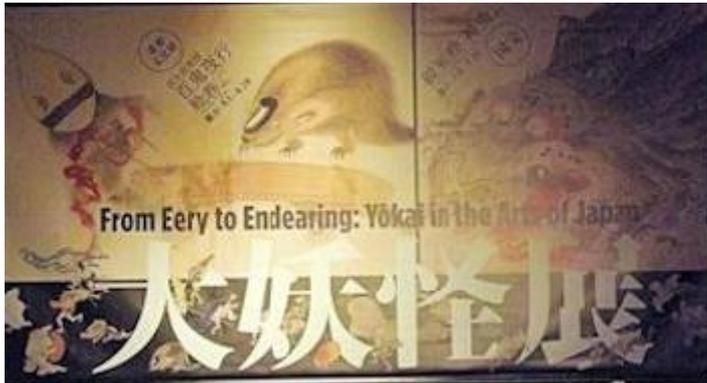
社会で女性が活躍するの

が難しかった当時、強い意

志とあふれる才能で時代を

特集

土偶から妖怪ウォッチまで 大妖怪展



本展最後はカワイイ妖怪たちも登場!

◆ 7月5日(火)
 〓 8月28日(日)
メモ
 江戸東京博物館(東京都墨田区横綱1-4-1)
 TEL 03-3626-9974
 一般 1350円 大学生・専門学校生 1080円
 中学生(都外)・高校生 65歳以上 680円 小学生・中学生(都内) 680円
 月曜日休館(7/18、8/8、9/15は開館、7/19は休館)

この夏はご家族で訪れたい
 妖怪は、日本人が古くから抱いてきた、異界への恐れ、不安感、また「身近なもの」を慈しむ心が造形化

江戸東京博物館では、縄文時代の土偶から、平安・鎌倉時代の地獄絵、中世の絵巻、江戸時代の浮世絵など、日本人が恐れ、愛してきた妖怪たちを紹介。



美術史家・安村敏信氏

「百鬼夜行絵巻」(ひゃっきやぎょうえまき)などに描かれた妖怪たちの姿は、一見すると不気味ながら、実に愛らしさにあふれている。
 本展では、古くから日本で愛されてきた妖怪、すなわち「異界への畏れの形」

の表現の展開を、縄文時代の土偶から、平安・鎌倉時代の地獄絵、中世の絵巻、江戸時代の浮世絵、そして現代の「妖怪ウォッチ」まで、国宝・重要文化財を含む一級



「大妖怪展」を、この夏の家族で観てみるのもいいのではないだろうか。
 妖怪たちも総出演! 楽しく演出された「大妖怪展」を、この夏の家族で観てみるのもいいのではないだろうか。

2016年8月28日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

●東京芸術大学美術館 「観音の里の祈りとくらし展II」 8月7日まで
 03 5777 8600 (ハローダイヤル)
 00 (ハローダイヤル) 一般1200円 月曜日休館

●東京国立近代美術館 「声ノマ 全身詩人、吉増剛造展」 8月7日まで
 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●国立新美術館美術館 「ルノワール展」 8月22日まで
 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 月曜日休館

●江戸東京博物館 「大妖怪展 土偶から妖怪ウオッチまで」 8月28日まで
 03 3626 9974 一般1350円 月曜日休館

●三井記念美術館 「アール・ヌーヴォーの装飾磁器」 8月31日まで
 03 3467 4527

03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1300円 月曜日休館

●パナソニック汐留ミュージアム 「ミケランジェロ展 ルネサンス建築の至宝」 8月28日まで
 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●太田記念美術館 「北斎漫画 森羅万象のスケッチ」 7月28日まで
 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般700円 月曜日休館

●Bunkamura ザ・ミュージアム 「西洋更紗 トワル・ド・ジュイ展」 7月31日まで
 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1400円 無休

●原美術館 「みんな、うちのコレクションです」 8月21日まで
 03 0651 1100 一般1000円 月曜日休館

●日本民芸館 「沖繩の工芸」 8月21日まで
 03 3467 4527

一般1100円 月曜日休館

●智美術館 「秋山陽アルケールへの海へ」 7月24日まで
 03 5733 5131 一般1000円 月曜日休館

●泉谷博古館分館 「数寄者住友春翠 和の美を愉しむ」 8月5日まで
 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般800円 月曜日休館

●サントリー美術館 「生誕170周年 エミール・ガレ」 8月26日まで
 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1300円 火曜日休館

●世田谷美術館 「アルバレス・ブラボ写真展」 8月28日まで
 03 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●板橋区立美術館 「イタリア・ボローニヤ国際絵本原画展」 8月28日まで
 03 3977 1000 一般650円 月曜日休館

東京郊外

●町田市立博物館 「インドネシア ファッション」 8月28日まで
 03 726 1531 一般300円 月曜日休館

●横須賀美術館 「自然と美術の標本展」 8月21日まで
 04 6 845 1211 一般800円 8/4休館

●神奈川県立金沢文庫 「泥亀(でいき) 永島家の面影」 7月31日まで
 04 5 701 9069 一般250円 月曜日休館

●平塚市美術館 「不思議なアート トリックトリック」 8月28日まで
 04 6 35 21 0463 35 21 11 一般900円 月曜日休館

●佐野美術館 「日本近代洋画の巨匠 和田英作展」 8月7日まで
 05 975 7278 一般1000円 木曜日休館

関東南部

●DIC川村記念美術館 「サイ・トゥオンブリーの写真 変奏のリリシズム」 8月28日まで
 01 20 498130 一般1200円 月曜日休館

●千葉市美術館 「河井寛次郎と棟方志功」 8月28日まで
 04 3 22 1 2311 一般1200円 無休

●笠間日動美術館 「田嶋陽子 書アート展 こもれる日々」 7月24日まで
 02 9 72 21 60 一般1000円 月曜日休館

●足利市立美術館 「没後40年 高島野十郎展」 7月31日まで
 02 8 4 43 3131 一般700円 月曜日休館

●群馬県立近代美術館 「鴻池朋子展 特異な空間へ」 8月28日まで
 02 7 346 5560 一般610円 月曜日休館

関東北部

●静岡市美術館 「エッセイの世界」 8月28日まで
 05 4 273 1515 一般1000円 月曜日休館

●箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)1300円、中学生・小学生800円年中無休

●箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 432) 電話0460(82)2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

●箱根の景観と自慢のスウィーツを染しめます (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 432) 電話0460(82)2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

●江戸民具街道 (神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

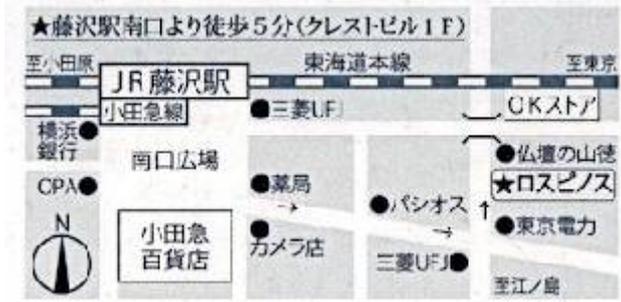
●からくり人形な関係資料多数展示中

Art Topics



在住者にしか撮
影できない、貴重な作品ば
ばかりです。
メキシコ在住35年 在住者にしか撮
影できない、貴重な作品
ばかりです。
山口純次 写真展
メキシコの本物の姿がわかる個展!
画廊企画 7月14日から18日
12時から18時 アートギャラリーロスピノスにて

アートギャラリー
ロスピノス
(神奈川県藤沢
市南藤沢7
102)
0466 102
2000 26
午後18時まで
藤沢駅南口よ
り徒歩5分(ク
レストビル1
F)



メキシコの本物の姿がわかる個展!

メモ

アートギャラリー
ロスピノス
(木) 7月14日
18日



オルセー美術館・オランジュリー美術館所蔵

ルノワール展 来場者30万人突破?!

人気のルノ
ワール展に
殺到!

4月27日(水)
から8月22日(月)
まで、国立新美術
館で開催中の「オ
ルセー美術館・オ
ランジュリー美術
館所蔵 ルノワ
ール展」は、連日多
くの来場者で賑わ
う中、6月29日
(水)、来場者が
30万人を突破し、

現在も入場者が増え続けて
いる人気の展覧会となつて
いる。

メモ

7月16日
11日(土)~9月11日(日)
パシフィコ横浜展示ホ
ールA(横浜市みなとみらい)
開場時間...10:00~16:00
大人(高校生以上) 1500円
大学・専門学校生 1080円
子供(3歳以下) 800円
会期中無休

人間国宝 島岡達三陶芸美術館 サンバレー美術館



島岡達三氏は大正8年生まれ、東京工業大学に入学生になった年、民芸運動の実践者である

陶芸体験教室 も人気!

栃木県那須高原にある「ホテルサンバレー那須」は、那須随一の大規模ホテルとして知られている。特筆すべきは、世界的な芸術家の貴重な美術品を見る事ができる、芸術文化施設としても有名なホテルだということ。2014年の秋には「サンバレー美術館」がオープンし、「人間国宝・島岡達三美術館」として、陶芸品を中心として展示されている。

平成8年(1996年)に重要無形文化財保持者「人間国宝(民芸陶器・縄文象嵌)」に。2002年には、「栃木県名誉県民・第一号」に認定された。2007年12月に没するまで、旺盛な芸術文化活動に奔走し「益子焼」の名を世界的に広めた功績は有名。

メモ

◆サンバレー美術館(栃木県那須郡那須町湯本203)
TEL 0287 7666
00 一般700円 学生(中・高・大学生) 500円